



岩村秀巖模写
渡辺省亭『省亭花鳥画譜』
紙本着色 総合情報館蔵

『省亭花鳥画譜』は、明治23～24年にかけて発刊された花鳥画を木版多色刷で印刷した画集です。秀巖は、数えきれないほどの写生や模写をしていました。日本画の名手は努力の人でもあったのです。



昭和14年(1939) 紙本着色 総合情報館蔵

作品の題名は、集まった花々がその美しさと艶やかさを競い合うという意味です。よく見ると、春夏秋冬、さまざまな季節の花が一堂に咲き誇り、絵画ならではの不思議な光景が描かれています。



岩村秀巖

芳賀町の文化人
故郷で描き続けた日本画家

岩村秀巖(本名：岩村藤平)は、明治7年芳賀郡稲毛田村(現在の芳賀町稲毛田)に生まれた日本画家です。秀巖の作品は、町内外を問わず数多く残されています。

秀巖は、32歳まで祖母井尋常高等小学校で教鞭をとりながら、絵師として活躍し「画家の先生」と親しまれました。わずかな期間、東京の日本美術院などで絵を学びましたが、人生のほとんどを故郷で過ごしました。日本画家として、近隣市町のほか山形県や熊本県、鳥取県など全国各地の博覧会や共進会に出品し、実力をつけていきます。また、日本美術協会の会員になり、全国規模の大きな展覧会にも入選していました。

晩年は、下野新聞などに挿絵や旅行便り、コラムが掲載されるなど、広く活躍しました。



昭和14年10月1日発行 男体社発行 岩村秀巖画 印刷物 総合情報館蔵

昭和14年に発行された観光案内のパンフレットです。案内文は日本語と英語で書かれており、日光は昔から国際的な観光地として知られていたようです。秀巖の文字と落款も印刷されています。

芳賀町指定文化財
如意輪観音図
絹本着色 総合情報館蔵

如意輪観音は観音菩薩の化身の1つで、一切の望みを成就してくれると言われており、主に六臂(6本の腕)または二臂像の姿で描かれます。この像は、6本の手のうち2本に、尊名の由来である如意宝珠と法輪を持っています。また、作品に署名や落款がないのは、祈祷の際に使用される仏画だからです。



総合情報館の博物館部門・文書館部門では、町の文化・芸術の拠点として、貴重な歴史資料を展示に活用しています。

「芳賀町」について知る機会となり、郷土愛を育む一助となれば幸いです。※なお、掲載した資料は現在展示されていません。企画展等開催の際には、ぜひお越しください。

総合情報館 ☎028(677)2525

